

小林伸陽 県議が6月29日、6月県議会（6/21～7/6）一般質問に立ちました。質問と答弁の要旨を紹介します。



＊ ＊ 大北森林組合等補助金不正問題について ＊ ＊

・なぜ長期に不正が見過ごされたのか

小林 16億円余の補助金が7年間にわたり不正に扱われてきた県政史上最大の不祥事。なぜ7年もの長期にわたり不正が行われたのか。発覚から3年経ち解決の方向性も見えない。全面的解決の見通しは。

阿部知事 北安曇地方事務所(当時)の担当者の行き過ぎた助言、多忙感による現地調査の軽視等につけ込み、組合が不適正申請を長期に主体的、能動的に行った。責任所在を明確にしながら丁寧に対応している。

・現地職員だけに責任があるのか

小林 県から損害賠償請求を受けた北安曇地方事務所(当時)林務課職員11名の実態は把握しているのか。裁判の証言や私の調査では、本庁からの予算消化の厳しい指導等に悲壮な証言をしている。県と職員の認識に大きな乖離がある。11人のみに賠償を求めることは到底理解できない。

阿部知事 裁判での証言を確認したところ、県の認識と適合している事を改めて確認した。基本的には県の認識はこれまで通りだ。

・大北森林組合の返還計画を妥当とする根拠は

小林 組合は職員が相次ぎ退職し現在6名程度。毎年赤字になる。13億円を33年間で返済できるとする根拠は。

林務部長 大北地域は広葉樹が充実しており、薪をはじめとした需要が期待できる。林務部改革推進委員会の意見も踏まえ妥当とした。

・検証に必要な情報は公開せよ

小林 法的課題検討委員会の議事録等開示を求めたが、全て「黒塗り」「のり弁」状態。

阿部知事 日時・出席者等は公開、内容は非公開と決定した。非公開部分は、争訟で県の地位を不当に害する恐れや、検討事務の適正遂行に著しい支障を及ぼす恐れがある。

小林 異常な状況だ。誠心誠意を持って情報公開に伝えてもらいたいと心から要望する。

質問を終えて

現地職員の裁判での証言から見ても、長期にわたり県主導で不正な事業が行われていた事は明確です。それにも関わらず、現地職員11名のみに責任を押しつけて幕引きは許されません。再発防止からも事件全体の解明が求められます。